

- 問1 香川県などの瀬戸内地方の地形図を確認すると、平野部に「〇〇池」と記された小さな水域が数多く点在していることがわかります。これらの施設がこの地域に多く作られた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- 瀬戸内工業地域において、大量に必要な工業用水を確保するため
 - 台風による大雨が多いため、河川の氾濫を防ぐ貯水池とするため
 - 急峻な地形を利用して、小規模な水力発電を行うため
 - 年間降水量が少なく、稲作に用いる水を確保するため
- 問2 中国地方に位置する鳥取県は、4つの県と境界を接しています。これらの隣接県に関する統計において、面積が約7,114平方キロメートル、自家用乗用車の保有台数が100世帯あたり136.0台と示される県があります。この県には、他の隣接県である島根県（石見銀山）や兵庫県（姫路城）、広島県（厳島神社・原爆ドーム）とは異なり、現在世界遺産が登録されていません。この県はどこですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- 兵庫県
 - 岡山県
 - 島根県
 - 広島県
- 問3 鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観
 - 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観
 - 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観
 - 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並ぶ工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観
- 問4 高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。
 - 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。
 - 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。
 - 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。
- 問5 鳥取県における地域調査に基づき、一世帯あたりの家族構成の推移について説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- 一人暮らしや二人家族の割合が拡大し、一世帯あたりの平均人数は減少している。
 - 人口減少に伴い、世帯数も人口と同じ割合で減少が続けている。
 - 三世帯同居の普及により、5人以上の世帯が最も高い増加率を示している。
 - 共働き世帯の増加により、家事分担のために親族と同居する世帯が増えている。
- 問6 ナスの月別取扱量を示した資料によると、一般的な産地では7月から10月にかけて供給が急増しますが、高知県産は11月から翌年6月まで安定した供給を維持し、特に3月から5月に出荷のピークを迎えるという特徴があります。高知県がこのような出荷形態をとる最大の理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- 夏場の病害虫の被害を避けるため、あえて冷涼な山間部の気候を利用して冬に生産を集中させているため
 - 土地の高度差を利用して作物の生長を遅らせ、他の産地の収穫が終わった後に市場を独占するため
 - 冬の乾燥した気候がナスの栽培に最も適しており、肥料や農薬の使用量を大幅に削減できるため
 - 他の産地からの供給が少なくなる時期を狙って出荷することで、市場価格が高い時期に販売し利益を増やすため
- 問7 中国・四国地方の各県の産業について述べた文のうち、香川県の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- 製造品出荷額が日本一であり、重化学工業を中心とした世界最大の工業地帯となっている。
 - 工業集積がまったく見られず、県全体の産業の大部分を熱帯雨林を活用した林業が占めている。
 - 一定の工業集積が見られるとともに、ため池などを活用して野菜や果実の栽培が行われている。
 - 年間を通して降水量が多いため、ため池は不要であり、米の単作のみに特化した農業が行われている。
- 問8 日本の国内貨物輸送において、1980年代から現代にかけての輸送手段別の割合の変化をたどると、鉄道や内航海運が減少する一方で、現在は全体の約半分を占めるまでに成長し、最も高い割合となっている輸送手段は何ですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- 内航海運
 - 鉄道輸送
 - 自動車（トラック）輸送
 - 航空輸送
- 問9 広島県における2006年から2015年の市町村別人口動態の調査では、県北部の内陸部に位置する市町村で、7.6%を超える顕著な人口減少が確認されています。このような高い減少率を示す地域に共通して見られる地形的な特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- 大規模な稲作や工業用地に適した広大な平野
 - 火山の噴火によって形成された平坦な台地
 - 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形
 - 土砂の堆積によって作られた生活に便利な三角州
- 問10 中国・四国地方の各県の産業について、統計上の特色を正しく説明しているものはどれですか。なお、工業出荷額は製造品出荷額等を指し、農業産出額は各部門の生産実績に基づいた指標を指します。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- 高知県は工業出荷額が地域で最も高く、愛媛県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、広島県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 - 愛媛県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、広島県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、島根県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 - 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、高知県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、愛媛県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 - 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高いが、高知県は果実の産出額が最も高く、愛媛県は野菜の産出額が突出している。
- 問11 四国地方を構成する4つの県のうち、太平洋側に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した農業などが盛んな高知県の県庁所在地はどこですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- 高松市
 - 松山市
 - 徳島市
 - 高知市
- 問12 日本の諸地域の産業に関する統計において、製造品出荷額のうち化学工業が約1兆6458億円に達しており、農業的な指標に比べて工業の規模が極めて大きいという特徴を持つ県はどこですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- 香川県
 - 山口県
 - 徳島県
 - 愛媛県